

第 243 回競技委員会議事録

1. 日 時：2016 年 10 月 5 日（水）18 時 00 分～21 時 20 分
2. 会 場：連盟本部事務局
3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 12、定足数 8、出席 12（内委任状 5）で成立。
寺本直志委員長、
斉藤千鶴乃、山後秀幸、吉田正、横井大樹、桜井雅子、仲村篤志
委任状：ロバート・ゲラー競技会事業担当業務執行理事
佐々部君敏、林伸之、正村祐一、西田奈津子

オブザーバー：鈴木正人

4. 議事の経過及び結果：委員の互選により仲村篤志委員を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 クラブディレクター承認の報告

- (1) クラブディレクターの承認について下記の通り事務局から報告があった。

山崎 直	166766	C-01109	福岡県
堂道 三智子	187990	C-01110	東京都
高野 佳子	121989	C-01111	愛知県

第 2 号議案 セクショナルディレクター承認の報告

山崎 直 166766 C-01109 福岡県（推薦者：胡 文輝）

第 3 号議案 コンベンションに関するワーキンググループからの報告

- (1) コンベンションに関するワーキンググループからの報告がグループ長の吉田委員より文書であった。
- (2) 4-4-3-2 での 1C オープンをナチュラルと定義することで合意した。
ただしアラートは必要。変更にあたってコンベンションリストの定義、リスト B のオープン
の項目、補足 1)(3)、補足 2)、アラートチャートを修正することとした。文案は事務局が行
う。
- (3) アラートチャートで 1H-INT-2C が C を 2 枚しか保証しない場合、アラートが必要である旨を
明記することで合意した。
- (4) AKQ いずれかのシングルトンのある INT オープンは現在ナチュラルの扱いだが、他にダブル
トンがあってはならないことで合意した。
- (5) J 以下のシングルトンがある INT オープンについて、リスト C 以下では取り決めにかかわら
ず調整スコアにすべきとの意見があった、2016 年 10 月より記録保管制度が実施されたため、
まずは制度の運用にて対応すべきとの意見があったため制度の運用による影響を確認するまで
見送りとすることで合意した。
- (6) コンベンションリストの補足 10)にある ACBL General chart との違いに関する項目を吉田委員
が更新することとした。

第 4 号議案 スクリーン規定、WBF System Policy の翻訳と JCBL コンベンションリストの英訳について

- (1) スクリーン規定、WBF System Policy の翻訳と JCBL コンベンションリストの英訳について吉
田委員より提出があった。
- (2) WBF のスクリーン規定にあった修正を日本のスクリーン規定に反映することで合意した。
WBF のスクリーン規定の文書にはないが 2016 年の WBG ではキャプテンズミーティングにて
トレイを取り除く場合はディクレアラースイドが行いディフェンダーはトレイに触れないよう
指示が出されたことについて報告があった。国際大会の基準に合わせて規定を作成すべきとの
意見があった。

- (3) WBF System Policy では HUM や Brown Sticker Convention が使用できる大会がより制限された。またカテゴリー 2 では Brown Sticker Convention の使用は 1 ペア当たり 3 つに制限されることになった。
- (4) 吉田委員より提出された JCBL コンベンションリストの英訳の確認をロバート・ゲラー委員に依頼することで合意した。

第 5 号議案 その他議案

- (1) 高松宮記念杯の運営に関する改正案の提出が鈴木オブザーバーより文書であった。
 - ・対戦シードについて勝ち組 3 戦目以降では新たに負けたチームが負け組との対戦で Home になることが提案され合意した。
 - ・17 チーム以上の対戦において、現在 IMP の得失点率によって次の対戦が決まるが、シード順に従って対戦を行い、早められる対戦はなるべく早く対戦する方式が提案された。新方式では 2 日間 4R で 2 敗したチームが、1 日間 2R で終了できる可能性がある。ただしシードチームでも午前中から試合がある可能性がある。議論の結果新方式を採用することで合意した。
 - ・ダブルノックアウトでのクオリファイに関して意見交換を行った。
 - ・メンバーの追加と削除に関して意見交換を行った。
 - ・新しい高松宮記念杯の方式について試合要項と対戦表を事務局が作成し報告することとした。
- (2) 藤山杯の試合形式について意見交換を行った。
- (3) 吉田委員より THE INTERNATIONAL BRIDGE PRESS ASSOCIATION の論説が提出された。今回の WBG においてスコアの間違った入力が多発し修正されず集計されたことが問題になっていることについて意見交換を行った。
- (4) 2016 年 10 月までに起きた 2 件の上告について意見交換を行った。

次回競技委員会は 2016 年 12 月 7 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

次々回競技委員会は 2017 年 1 月 4 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

以 上